

1 題材名 わくわくネイチャー虫さんランド〈A表現(2)イ・ウ, B鑑賞(1)ア〉

2 目標

- (1) 虫の家や遊び場を想像し、土粘土や自然材のよさを感じながら友人と協力してつくることに楽しく取り組みようとする。
(造形への関心・意欲・態度)
- (2) 自分のつくりたいものやつくり方のイメージをもち、想像したことを基に、表し方を思い付いたり設計図を考えたりすることができる。
(発想や構想の能力)
- (3) 土粘土の特徴を生かしたり、自然材のよさを効果的に使ったりしながら、材料の形や色、組合せ方や粘土の付け方などを工夫して表すことができる。
(創造的な技能)
- (4) 工夫点や共通点について話し合いながら、自分たちの作品のよさや面白さを感じ取ることができる。
(鑑賞の能力)

3 題材について

本題材は、自分のつくりたいもののイメージをもち、友人と関わり合いながら、粘土や自然材の特徴を生かして想像の世界を立体に表すことをねらいとしている。各児童が製作したものを持ち寄って、グループごとに一つの世界をつくりあげるといった目的もあるため、友人や作品との関わりが深くなり、試行錯誤を重ねながらの意欲的な活動が期待できる。グループ活動においては、材料と触れ合う中から生まれた一人一人の気付きやイメージを基に、発想を交換したりよさを話し合ったりする言語活動を工夫することで、友人と協力して楽しく取り組むことができる。また、乾きにくく可塑性があり児童の興味を惹きつける土粘土との出会いや、豊かな自然に囲まれた本校児童にとって身近である自然材のよさを楽しみながら作品づくりを進めることができる学習内容でもある。これらの学習要素を踏まえ、材料の形や色、組合せ、特徴を生かしてつくる本題材は、自己決定をしながら自分らしい表現ができる題材である。

実態調査

(調査人数18人 平成23年7月19日調査)

質問事項	回答
粘土の学習は、好きですか。	・大好き(16) ・好き(2) ・ふつう(0) ・好きではない(0)
土粘土を使って作品をつくったことがありますか。(内容は複数回答)	・ない(15) ・ある(3)(家の人と一緒に焼き物体験をしたことがある→皿づくり, 茶碗づくり, マグカップづくり)
土粘土でどんなことをしてみたいですか。(複数回答)	・好きな形をつくりたい(18)→人形, ロボット, 船, バラの花, 動物, 恐竜, 魚, 昆虫, 鳥, 城, 建物, テーブルと椅子, 好きなキャラクター, 洞穴 ・生活の中で必要なものをつくって、使いたい(13)→皿, マグカップ, ご飯茶碗, 宝物入れ, 鉛筆立て, 花瓶, アクセサリー, キーホルダー, 貯金箱 ・土粘土で遊んでみたい(9)→丸めてだんごにする, 転がす競争をする, 平たくする, 長く伸ばす, へらで細かく切る, 型取りをする, 焼く
自分の作品の工夫点や努力点を話すことができますか。	・いつもよくできる(12) ・だいたいできる(6) ・あまりよくできない(0) ・できない(0)
作品をつくるときに、困ったことや分からないことがあったらどうしますか。(複数回答)	・友人に聞いたり一緒に考えたりする(14) ・自分で考えたり試したりしてみる(12) ・先生に質問する(10) ・どうしたらよいか分からない思う(0)

実態調査の結果から、本学級は図工の学習が好きで造形への興味・関心が高い児童が多いといえる。日常会話の中でも図工に関する話題が多く聞かれ、図工の授業を楽しみにしていることが強く感じ取れる。既習内容の紙粘土製作では、真剣なまなざしで集中して作品づくりに取り組む姿が見られ、粘土製作への高い意欲が持続した。また、自分の言葉で作品への思いを表現できる児童も多いが、考えたことを試しながら表したりつくりながら周りの友人の作品を見たりする中で自由な対話による言語活動の充実を図ることを通して、自分たちの作品のよさや面白さを感じ取ることができるよう支援したい。製作活動において技能面での援助を必要とする児童や、土粘土の扱い方が不十分な児童に対しては、TT指導や教育補助員による個に応じた丁寧な指導をしていきたい。土粘土を取り上げた授業は初めてであるため、各自のイメージが思い通りに表現できないことも予想されるが、試行錯誤を繰り返す中から自己決定をしていく喜びを味わう体験を大事にしたい。

中学年の児童は、夢や不思議な世界についての想像力を働かせることを楽しんだり、ものをつくりだすことに熱中したりするなど、活動そのものに夢中になるような特徴がある。この活動過程において、児童は発想や構想、創造的な技能を身に付けることができる。そのため、形や色、組合せ、材料の特徴などの感じを楽しみながら豊かに発想をしたり、全身の感覚を十分に働かせて材料を生かしてつくりだす活動が大事である。そして表現と鑑賞の一体化を図り、児童の思いや願いを大切にしながら満足感や達成感、つくりだす喜びが味わえる学習を重ねて豊かな情操を養っていきたい。

4 指導計画及び評価計画（5時間取扱い）

時 段	学 習 活 動 (授業のしかけ)	観 点 別 評 価 規 準			
		造 形 へ の 関 心 ・ 意 欲 ・ 態 度	発 想 や 構 想 の 能 力	創 造 的 な 技 能	鑑 賞 の 能 力
1 (45分)	で あ い る。 つくりたいものを想像しながら、土粘土や自然材を組み合わせて、虫さんランドをイメージする。	虫の家や遊び場を想像し、興味をもって取り組もうとしている。 (観察, 対話)	どんな家や遊び場をつくったらよいか思い付いたり設計図を考えたりしている。 (観察, 対話, 設計図)		
2 (45分)	ひ 土粘土や自然材の形や色, 組合せ, 付け方などを工夫して, 虫さんランドのイメージを膨らませたりつくったりする。 (材料箱の用意, 学習カードの活用)		虫たちが喜びそうな工夫を考え, 自分のつくりたいものやつくり方のイメージを膨らませている。 (観察, 対話, 作品)		
3 (45分)	ろ が 土粘土や自然材の形や色, 組合せ, 付け方などを工夫して虫さんランドをつくる。 (材料箱の用意, 学習カードの活用)			粘土や自然材の特徴を生かし, 効果的に使いながら, 工夫して表している。 (観察, 対話, 作品)	
④ 本 時 (60分)	り 話し合いの中から生まれた工夫点を作品づくりに生かして, 友人と協力して虫さんランドを完成させる。 (学習形態の工夫, 学習カードの活用)	土粘土や自然材のよさを感じながら, 友人と協力してつくることに楽しく取り組もうとしている。 (観察, 対話, 学習カード)		材料の特徴を生かし, 形や色, 組合せ, 付け方などを工夫して表している。 (観察, 対話, 作品)	
5 (30分)	ま と め グループごとに作品展示を工夫し, 作品発表会を開く。 (学習カード, 見る見るカード, メッセージカード, 電子黒板の活用)				工夫点や共通点について話し合いながら, 自分たちの作品のよさや面白さを感じ取っている。 (発表, 見る見るカード)

5 〔共通事項〕の視点

土粘土や自然材の形や色, 組合せ, 特徴などの感じを捉え, それらを基に表したいことを思い付いたり考えたりしながら, つくりたいもののイメージをもつ。

6 本時の学習

(1) 目 標

材料の特徴を生かし, 形や色, 組合せ, 土粘土の付け方などを工夫して, 友人と協力しながら表すことができる。

(2) 準備・資料

〈児童〉土粘土, 粘土板, 粘土べら, 自然材(木の実, 木の枝, 木の葉, 小石など), 竹串, 濡れ雑巾, 計画書(設計図), 学習カード

〈教師〉ポリ袋, ラップフィルム, 土粘土保存容器, ビニルシート, 接着剤, ひも, 板材, 水入れ用皿, 材料箱, バトン, チェックカード(座席表)

学習活動・内容	指導上の留意点・評価																									
<p>1 本時の学習課題をつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>虫さんランドをパワーアップ！</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分パワーで ・友だちパワーで </div> <p>2 友人と協力しながら、虫さんランドをつくる。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ・材料の形や色，組合せを改善する。 ・土粘土の付け方を工夫する。 ・飾り付けを考えて，付け加える。 ・新たなものを考え出す。 ・友人の作品のよさや面白さを発見する。 ・自分の作品のよさに気付く。 </div> <p>～主な学習形態～</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20px; text-align: center; vertical-align: middle;">前面 黒板</td> <td style="width: 15%;"></td> <td style="width: 15%; text-align: center;">1 班</td> <td style="width: 15%;"></td> <td style="width: 15%; text-align: center;">2 班</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td style="border: 1px solid black; width: 30px; height: 20px;"></td> <td style="border: 1px solid black; width: 30px; height: 20px;"></td> <td style="border: 1px solid black; width: 30px; height: 20px;"></td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">材料や用具コーナー</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">3 班</td> <td></td> <td style="text-align: center;">4 班</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td style="border: 1px solid black; width: 30px; height: 20px;"></td> <td style="border: 1px solid black; width: 30px; height: 20px;"></td> <td style="border: 1px solid black; width: 30px; height: 20px;"></td> </tr> </table> </div> <p>3 本時の学習を振り返る。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 学習カードに書く。 (2) 感想や意見を発表し合う。 <p>4 次時の学習を知る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>虫さんランドへごしょうたい！</p> </div> <p>5 後片付けをする。</p>	前面 黒板		1 班		2 班							材料や用具コーナー						3 班		4 班						<ul style="list-style-type: none"> ・製作途中の作品を見合うことにより前時の学習を想起し，本時の学習への意欲を高める。 ・本時は「虫さんランド」を完成させることを確認し，作品完成に向けた意識付けをする。 ・各児童が製作したものを持ち寄って，グループごとに一つの世界をつくりあげるといふ学習の流れを確認し，児童が学習への見通しをもち，安心して楽しく作品づくりができるようにする。 ・話しながらつくり，つくりながら話す活動を通して，試行錯誤や自己決定をし，見通しと自信をもって楽しく作品づくりが進められるようにする。 ・4～5人のグループでのコミュニケーションを通して，友人の作品のよさや面白さを発見したり，話し合いの中から思い付いた工夫点を自分の作品づくりに生かしたりする。 ◎自然材の形や色，組合せを効果的に生かす方法を考え，虫たちにプレゼントしたい部屋や設備，遊び場を工夫して表すように励ます。 ・T1，T2ともに各グループに寄り添い，対話を通して作品のよさやそこに込められた思いを認め称賛する。 ㊦土粘土や自然材のよさを感じながら，友人と協力してつくることに楽しく取り組もうとしている。 〈造形への関心・意欲・態度〉（観察，対話，学習カード） ◎土粘土が付きにくいときや自然材がとれてしまう場合は，圧着したり必要に応じて接着剤を使用したりするよう助言する。 ・製作過程での自分や友人の作品のよさに気付いていない児童には，「虫さんたちが喜びそうな工夫」について考えることにより，よさに気付くきっかけを与える手立てをとる。 ・グループごとに，作品の並べ方やつなぎ合せ方を考えたり，「○○ランド」，「虫さん△△」などのネーミングをしたりして友人との関わりを楽しめるようにする。 ・T1，T2ともにチェックカード（座席表）を活用し，一人一人の表現のよさを見取ったり，作業進捗が遅れがちな児童に対して，完成を目指すよう声かけをして励ます。 ・教育補助員は，用具の使用や材料の扱いが困難な児童への技能的な援助をする。 ㊦材料の特徴を生かし，形や色，組合せ，付け方などを工夫して表している。 〈創造的な技能〉（観察，対話，作品） ・工夫が見られない児童には，板書の参考資料や友人の技法を参考にして（へらで凸凹を付ける，形を変える，枝をひもで結ぶ，小枝を差し込んで固定する，取れないように圧着する，バトンで表面を平らにするなど），多様な方法を知らせる手立てをとる。 ・形や色，組合せなど書く視点を決めて，学習カードに本時の学習の振り返りをする。 ・それぞれの思いを共有したり，他のグループのよさにも気付いたりすることができるようにする。 ・次時の学習内容は，グループごとに展示の仕方を工夫して作品発表会を開くことを知ることにより，学習意欲を高め，学習への見通しをもって取り組めるようにする。 ・作品を丁寧に扱いながら，協力して後片付けをする。
前面 黒板		1 班		2 班																						
	材料や用具コーナー																									
		3 班		4 班																						